

文芸 さくらがわ

俳句

〔大和俳句愛好会〕
回り道出来ぬ齢や福寿草

鈴木 ふみい

片言へつぎたす言葉葱坊主

古橋 益子

軽き靴はいて万歩や草萌える

安達 幸子

観音の総身に浴びる花明り

鈴木 つぎ

色のなきセシウムの値や蓬伸ぶ

岩渕 のぶ子

児をあやし癒さる心春淺し

田中 はつひ

古雛遠まなざしの幾世経し

皆川 和子

読みがけの本に引かれて春炬燵

鈴木 登美子

温もりて離れられなし春炬燵

田代 てい子

節分や手よりこぼれる豆の数

代田 とし

〔一般投稿〕

微かにも燃え紅梅の色となる

木下 善信

短歌

〔花の室 木崎集〕
河津桜咲きるる校庭にさらさらと白銀の毒な
ど降り積もるらし 塚田 沙玲

本棚の扉開ければ未知の国今日は〔響音〕と
江戸地を歩く 大久保 まさ子

濁流となりて氾るる阿賀野川七年前も災禍も
ありし 櫻井 ハル子

原発も地震も知らぬ合歓一樹あら草のなか毅
然と立てり 塩谷 明子

難聴のわが耳元に口寄せておはなしをする曾
孫四歳 鈴木 とみ

緑増す木木の下闇ぼっかりと金魚草は輝きて
咲く 塚本 幸子

天よりの便り乗せくる花びらは秒速五センチ
手のひらの上 西岡 和子

見捨てらるる祖の田畑に一筋の川光りつつ今
日も流るる 野村 幸男

三月十一日 歴史に残る日となれり〔核燃料
棒メルトダウンす〕 深谷 快子

〔岩瀬短歌会〕
隣家の杉の木立の木漏れ陽にわが山茶花は赤
く輝く 飯田 良江

黄を淡くふむむ蠟梅手折りたり友へもちゆく
小さな春を 滝井 幸子

霜月の厨ぬくとしむかご飯食べんとひたすら
友待ちをれば 古賀 澄

学生時代の絆繋ぎて六十二年賀状年々減り来
て淋し 片岡 喜知子

新玉の年の始めを岸壁に朝日の海へ平安を
祈る 泉 三郎

大櫓見上げつ姑は朝毎に庭を掃きあたり逝き
にし日まで 萩原 きの

傘傾げ会釈交してすれ違い露地に昔の優しさ
ありて 大久保 登美江

激動の年は過ぎゆき花火音に曇りて明けし元
旦の空 山田 しげの

座りしまま小さき野仏御衣に椿の影をのせて
ぞおはす 鈴木 美津子

〔岩瀬短歌会〕
大空をあかねに染めて歳旦のはや沈みゆく残
照惜しむ 安達 悦子

心して一度は決めしが捨て難く夜なべに縫い
し亡夫の半纏 安達 すみ子

歳晩の月は絵のやうに故郷への仏の峠をあま
ねく照らす 大関 節子

庭先の霜柱の中水仙の小さき芽にさす如月の
陽は 角田 玉枝

四方埋めて枯木に咲ける雪の花はららぎ落つ
るうたかたの景 坪井 ゆき子

ほんのりと山肌白き春の日に落のとう摘む野
辺のなだりに 長谷川 玲子

暮れなづむ山の端うすらに残照のくれない
仄々春の気配に 石川 喜代

広報 さくらがわ 有料広告募集!

広告を掲載する方の利便性をよくするため
4月号からサイズを大きくしました。
是非、ご利用ください。

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。

■問合せ先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ 有料広告募集!

広告を掲載する方の利便性をよくするため
4月号からサイズを大きくしました。
是非、ご利用ください。

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。

■問合せ先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268